

中上級レベルの文法クラスにおけるグループワークの改善

関 ソ ラ

1. 背景

2022年度 SJ410/NP7 文法の授業は、中級から上級レベル(JLPTのN2～N1)の留学生を対象にし、毎週金曜日の2時限目に春学期はオンライン形式で、秋学期は対面形式で行われた。本授業の目標は、①中級から上級レベルの文法項目を身につけ、作文や会話に活用できる、②中級から上級レベルの文法項目が含まれた長い文章が理解できる、③毎回学習した文法項目を復習し、クイズやワークシートなどに適切に答えることができることであった。受講者は、春学期と秋学期共に32名(1回以上出席している人)で、春学期はSJ14名、NP5名、EJ1名、AJ12名で、秋学期はSJ23名、NP6名、EJ3名だった。教材は『生きた素材で学ぶ 新中級から上級への日本語』(the Japan times PUBLISHING)で、その中でも各ユニットの「重要表現」に載っている文法項目を学習した。授業では、ほぼ1週間で一つのユニットを学習し、各学期それぞれ15週間の間にユニット1～10の計76の文法項目を勉強した。

春学期はオンライン形式でZoomとGoogle Classroomを利用して行われ、秋学期は対面形式で行われたため、授業内容においてある程度の変更は必要不可欠であった。その中でも、春学期は課題が多かったため学生も教師も負担が多かったことと、グループワークが効果的に行われず、学生間にあまり会話がなく、グループシートを完成させることに集中していたという問題があった。これを踏まえ、秋学期ではグループワークをより活性化するためにグループワークシートを改善し、より効果的に学生たちの理解度を把握してフィードバックするように試みた。

2. 改善とその結果

春学期の授業は、「教材の本文を一緒に読みながら学習する文法項目を確認→例文に基づき文法項目の意

味と使い方を確認→グループワーク→みんなで確認」の順に進めた。一方、秋学期の授業は、「前回の復習→小テスト→本文から学習する文法項目を確認→例文に基づき文法項目の意味と使い方を確認→グループワーク」の順に進めた。

春学期は、予習を兼ねて次回学習する全ての文法を使って作文する課題を出し、毎週Google Classroomに提出させた。また、グループワークでも同じ問題をグループワークシートに出し、学生同士で話しながら正しく作文したかどうかを確認するようにしたが、実際学生たちは同じ作業を2回することになり、課題で書いた自分の作文を写して書くことに集中し、あまり話し合っていなかった。また、教師も学生全員の課題とグループワークシートの全てを添削しなければならず、効率が悪く負担が大きかった。そのため、秋学期にはその問題を解決するとともに、対面形式になったこともあり、グループワークをより楽しく効果的に実施するために、グループワークシートを大きく変えることにした。新しいグループワークシートには、その日学習した文法項目を使って一人当たり1文ずつ作文をして会話を作る問題や、食生活・健康法・節約・若者言葉など各ユニットのテーマに合わせてグループのみんなで調べたり、質問し合って自分たちのことを話させるような問題を出した。また、別途の課題を出さず、その日の授業中にグループワークシートを完成させることができなかつた場合のみ授業後課題としてNUCTに出すようにしたが、できるだけ授業中に完成させるように促したため、実際課題になったのは2回だけだった。その結果、学生も教師も負担が大きく減り、グループワークで学生同士が活発に話せるようになった。

また、授業を始めるとき復習と小テストを取り入れたのも春学期と秋学期の大きな違いの一つだった。春学期はクイズを2回ほど取り入れたことはあったが、基本的に復習や小テストを授業中にしていなかったため、学生たちの理解度をしっかり把握することが難し

く、フィードバックはグループワークシートを一緒に確認する短い時間しかなかった。そのため、秋学期は授業の始めに復習と小テストを取り入れ、理解度の把握と共にグループワークのフィードバックにも努めた。具体的には、前回のグループワークシートに学生全員に書いてもらった作文をPPTで見せながら一緒に確認し、学習した文法項目をしっかりと理解しているか確認しながら復習をした。学生全員の作文(無記名)をみんなで確認しながらフィードバックしたため、学生たちは自分の作文だけでなく他の人の作文からも学ぶことができ、みんなが間違えやすいところも十分に確認できたと思われる。また、その後NUCTで小テストを実施し、学生は自分の点数をその場で確認でき、すぐに答え合わせをしてフィードバックすることで、理解できていない部分をもう一度しっかり学習できる

という効果があったと考える。

3. 今後に向けて

2022年度のSJ410/NP7文法授業では、春学期の実施結果を踏まえ、秋学期でグループワークシートを改善することで、課題と負担が減り、グループワークが大きく活性化された。学期末に実施した学生アンケートでも、グループワークが役に立った、続けてほしいという意見が多かったことから、学生たちの満足度も高かったと考えられる。一方、グループワークの時間が短かったという意見や、一緒に会話を作る活動をもっとしたいという意見があったことから、まだ改善する余地もあると考えられる。